

英彦山 勤皇悲話

幕末、九州における佐幕派の筆頭・小倉藩でも、小笠原藩主の弟・敬次郎をはじめ修験道の聖地・英彦山（添田町）の山伏たちが勤皇の志を遂げようとした。その過程で多くの命が失われた。本来、人、社会を救うべく修行する山伏たちがなぜ惨劇に遭ったのか。

嘉永6年（1853）のペリ

一來航を契機にした尊王攘夷機運の高まりをうけ幕府対長州藩の対立が激化。長州は関門海峡を通る外国船を砲撃し、隣接する小倉藩に対しても「攘夷は勅命だ」として門司・田ノ浦に無断上陸して外国船排撃への協力を強いるなど強硬な姿勢を貫いていた。

これに対し小倉藩は「国政は朝廷からの委託で幕府が動かしている。幕府に従うことが朝廷を敬うことである」として応じなかつた。一方、英彦山は鎌倉時代に皇族が座主に就任、

1729年には時の靈元法王により彦山が英彦山に改名されるなど皇室との関係が深く、攘夷の勅令を受けての祈願を行っていた。幕末の座主の高千穂教有も時の鷹司太政大臣の猶子で攘夷派公家の筆頭三条実美と縁戚でもあり、文久3年（1863）8月、三条実美らが京都から追放された「七卿落ち」の際は三条警固のため山伏7人を長州に派遣。京都にも出向いて七卿の赦免を哀訴させるなどした。そのような英彦山に長州藩は密使を送り小倉藩攻略の共謀を持ちかけたともいわれる。

山伏ら小倉で斬首

こうした動きを探知した小倉藩は同年11月11日、二木求馬に砲2門と多くの兵を率いさせて山内に討ち入り、連判状を見つけて山伏筆頭の政所坊をはじめ山伏、座主の家臣らを小倉に連行、当日下山していた者も旅先



現在は、かつての面影は全くない旧八百屋町獄跡（小倉北区室町）

で捕えて計11人を室町の八百屋町獄に投獄、座主・高千穂教有と一族も保護という名目で小倉に軟禁した。座主と一族はその後、帰山を許されたものの、獄につなされた11人は最後まで釈放されず、藩はついに小倉城を自焼した慶応2年（1866）8月1日、病没や火事の騒ぎに脱出した者を除く6人を獄舎で斬首した。

小倉で斬首された者のほか、長州藩士とともに行動していた京都で捕らえられて蛤御門の変で処刑され、また戦死した山伏



英彦山の招魂社に記られている、刑死した山伏たちの碑

もいた。英彦山は明治2年（1869）彼らを「義僧」として招魂場を設置して祀り、現在も続いている。

と話す。

小倉藩士にも勤皇家があった

八百屋町獄舎の犠牲者の中に、本覚坊英山（俗名：宇都宮亮現）、成円坊貫之（同：宇都宮有允）と宇都宮姓の名がある。英彦山社務所によると、戦国末期、黒田長政によって中津城で謀殺された城井城主宇都宮鎮房の家臣の多くが宇都宮再興を願って英彦山に逃れ、座主の保護を受けて僧徒になった。「その子孫たちで、祖先と同じ悲劇に遭われた」



広秀山福聚寺（北九州市）に祀られている小笠原敬次郎の墓碑

勤皇の志を抱いているながら早世した人に、小笠原敬次郎がいる。播州安志藩（兵庫県姫路市）の藩主小笠原信濃守の次男で、兄忠幹が1860年、小倉藩主を継いだ時、忠幹の政事世話掛として小倉藩に入った。江戸で熱心な尊王論者に学んでいたことから、ペリー来航の際、水戸斉昭に差し出そうと建白書を起草したが、あまりに激烈だったため友人に差し止められたという。家老島村志津摩らとも意見が合わず閑居していた1862年9月、自宅で弓の稽古中に弦で手の動脈を切り出血多量で死亡し

た。毒殺だったのでは、との説もあるが現時点では分らない。小倉藩も戊辰戦争からは旧幕府を見限って官軍に加わった。背景に、長州との戦いに苦しむ小倉藩に幕府は何の助成もせず放置したことへの反感もあった。北九州市立歴史文化博物館の守友隆学芸員は「明治維新は薩長土肥、あるいは特定の人、出来事と結び付けがちだが、小倉、福岡藩等をも視野に入れた大きな視点で見ることが大切」と話している。

シニアスタッフ 村田和夫

※ 八百屋町獄
現在の小倉北区室町一丁目帯にあった。明治4年、小倉監獄になり同23年、隣接する跡地に移転した。斬首刑は獄舎とは別の刑場だった、との説もある。

◆ 北九州歴史文化塾 ◆

英彦山勤皇悲話

幕末、譜代の有力藩として長州と激烈な戦いを展開した小倉・小笠原藩にも勤皇の志の人たちがいた。修験道の道場として有名な英彦山の山伏たちもその一員。だが、その過程で多くの悲劇も生じた。英彦山にその跡を訪ねます。

テーマ 英彦山勤皇悲話
開催日時 8月27日 9:00～
集合場所 9:00 JR 城野駅南口
講師 添田町英彦山ガイド
受講料 1,500円
 (交通費ケーブルカー往復込)

【参加お申し込み・お問い合わせ】
 さくら編集部 ☎ 093-965-6080

時間	行程
9:00	JR 城野駅南口集合
10:00	休憩（道の駅大任）
10:40	英彦山神社駐車場到着
10:50	移動
11:00	ケーブルカー上り
11:15	英彦山神社（宝常殿）到着 ★現地ガイド説明有
11:30	招魂社到着 ★現地ガイド説明有
12:10	ケーブルカー下り
12:20	移動
12:30	英彦山神社駐車場出発
12:50	昼食（道の駅大任遊舎：自由行動）
14:00	道の駅出発
15:20	JR 城野駅到着

第26回北九州歴史文化塾 英彦山勤皇悲話 行程表